

2分 で分かる注目レポート

「Global Economic Prospects」

発行

World Bank Group

世界の経済成長率などを予測・分析

発行機関

世界銀行グループは、世界各地域の加盟国により構成され、開発途上国に幅広い支援を行う国際機関である。途上国の発展段階や資金需要に応じて、準商業的融資を担う国際復興開発銀行（IBRD）、最貧国向けに低利融資や贈与を行う国際開発協会（IDA）、民間企業への融資・出資を行う国際金融公社（IFC）、民間投資を促進する多数国間投資保証機関（MIGA）など、異なる役割を持つ複数の機関で構成されている。

レポート紹介

世界銀行（World Bank Group）が年2回（1月・6月）発行する世界経済見通しレポート。世界経済や各地域の成長率見通しに加え、インフレ、貿易、金融市場などの動向についても分析している。

OUTLINE

- 2026年の世界経済成長率（実質GDP成長率）は2.5%と、コロナ危機発生以来で最も低い水準に減速する見通しである（2025年は2.9%）。
- 背景にあるのは、中東紛争によるエネルギー市場の混乱と商品価格の上昇（図表1）。こうした圧力が重なり、世界的なインフレ率は昨年の3.3%から大幅に上昇し、4.0%になる見込みだ（図表2）。
- 下振れリスクも大きい。エネルギー供給の混乱が現在の予想より深刻で重大な財政的圧迫を伴う場合、2026年の世界経済成長率は1.3%まで低下し、インフレ率は4.4%に上昇する可能性がある。



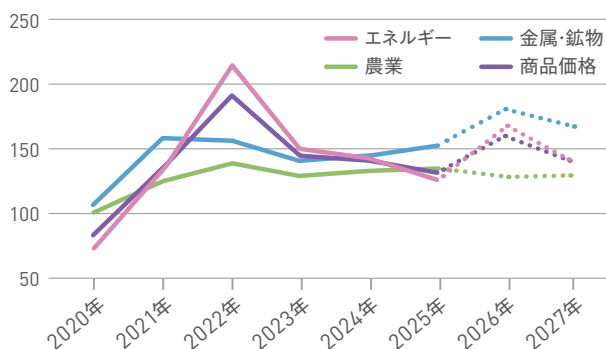
◀レポートは2026年6月11日に発表された

▼ホルムズ海峡の封鎖はエネルギー市場に深刻な混乱をもたらした



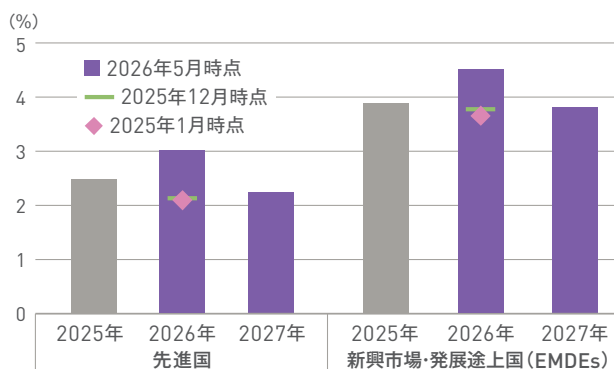
■ 図表1 世界の商品価格予想

指数100=2015年～2019年の平均



※商品価格は貴金属を除いた世界銀行の商品価格指数。破線は2026年6月2日時点における2026年～2027年の予測値。

■ 図表2 世界のインフレ率予想値



※35の先進国および最大53の新興市場・発展途上国 (EMDEs) の総合消費者物価指数 (CPI) 上昇率予想の中央値 (Consensus Economics 調査)。

(出所)「Global Economic Prospects (JUNE 2026)」のデータをもとに当社作成